年間授業計画　新様式

高等学校　令和５年度（2学年用）教科　　芸術　　科目　美術Ⅱ

教　科：　芸術　　科　目：　美術Ⅱ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　6 組

使用教科書：『高校生の美術２』（日本文教出版）

教科　芸術　　の目標：　芸術活動を通して、生活や社会の中にある芸術作品や概念に興味・関心をもち、芸術の伝統と文化に関わる資質・能力の向上と、生徒の自発的創造力を育成する。

【知識及び技能】芸術の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、効果的に表現するため技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】感性や創造力を働かせ、自然、自己、社会などを深く見つめ、主題を生成し表現方法を工夫し構想を練る。

【学びに向かう力、人間性等】美術作品の表現の工夫や豊かな生き方の創造に関わる美術の働き、美術文化の理解を深め、多様な視点から取り組む。

科目　美術Ⅱ　　の目標：　美術の幅広い活動を通して、美術的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中にある美術作品や概念に興味・関心をもち、美術文化と深くかかわる資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に取り組む。	感性や創造力を働かせ、自然、自己、社会などを深く見つめ、主題を生成し表現表法を工夫しの構想を練る。	美術作品の表現の工夫や豊かな生き方の創造に関わる美術の働き、美術文化の理解を深め、多様な視点から取り組む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 絵・彫	表現 デ	表現 映	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	●ペンの使い方と練習 ●ペン画（生き物のいる情景） 心に残っている情景や印象を基に動物の絵や想像上の生き物を構想し、主題を表す効果的な構図と視点、形の省略や強調などを考えて、ペンによる表現力を育てる。	・ペンによるハッチング、点描など、描画方法を理解する。 ・鉛筆素描とは違うボールペンによる白黒の表現を理解する。 ・表現したいモチーフ（植物、動物、他）を研究し構成を考えA4ワークシートに鉛筆で下描きをする。 ・ペンで線や点を重ねていき、密度ある画面に仕上げる。	○	○		○	【知識及び技能】鉛筆やネリ消しゴム、画材などを正しく効果的に使えているか。 【思考力、判断力、表現力等】道具を自身の表現意図に反映させられらているか。 【学びに向かう力、人間性等】美術に興味をもち、自身の表現に対するスキルを出せているか。	○	○	○	2 12
	●ペーパークラフト額の制作 ペン画を入れる額を製作する。	・額を製作する手順を学ぶ。 ・ボンドで接着する位置と向きを理解し、間違えない。	○	○				○	○	○	10
	●「河川の愛護月間」絵手紙 身近な生活を振り返り、日常生活の中で河川に関わる思い出を表現する。	・絵手紙の表現技法を理解する。 ・日常生活の中でドラマを感じ、絵と書でまとめることができる。 ・垂らし込み、ぼかし、にじみ、の技法を理解する。 ・文字と絵との構図バランスを考える。	○	○		○		○	○	○	12
2学期	●「河川の愛護月間」絵手紙 河川愛護月間7月1日～7月31日 河川愛護意識の高揚を図る。	・河川愛護月間の応募規定に沿った作品制作を行う。 ・応募上の注意を理解する。 ・応募した作品は、国土交通省に帰属する。	○	○		○	【知識及び技能】絵の具による色彩感覚、構成力、表現力、レタリングの正確さは適性であるか。 【思考力、判断力、表現力等】画面構成や自己の意図を表現できているか。 【学びに向かう力、人間性等】人物表現への興味・関心、自己の内面表現のアプローチができているか。	○	○	○	6
	●紙粘土による彫刻制作 自由に発想したアイデアを平面から立体にアウトプットできる造形力、表現力を養う。また、やわらかい粘土を成形/乾燥/接着/着色へと順序立て計画的に進める。彫刻ならではの360度違う表情を愉しむ。	・アイデアに従った制作プランの立案、芯材制作、塑像技法、道具等を使った表現方法、立体への着色方法。 ・作品鑑賞	○	○		○		○	○	○	18
3学期	●消しゴムハンコ 人物と時代の表現を判子に詰める	・ナンシー関の消しゴムハンコを見本に、自分ならどう制作するか考え、人々の言葉や表情、時代の雰囲気を取り入れて制作する。 ・デザインナイフと彫刻刀を使い、消しゴム判子の制作技法を理解する。	○	○	○	○	【知識及び技能】作品の特徴や表現方法を把握し絵の具を使った表現ができているか。 【思考力、判断力、表現力等】作者の表現意図を考え、それを自身の表現に置きかえて制作できているか。 【学びに向かう力、人間性等】様式の美しさに興味・関心をもち、能動的に鑑賞に向き合っているか。	○	○	○	10 合計 70